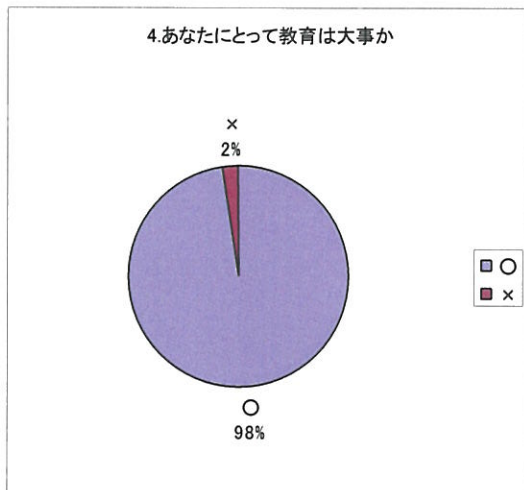


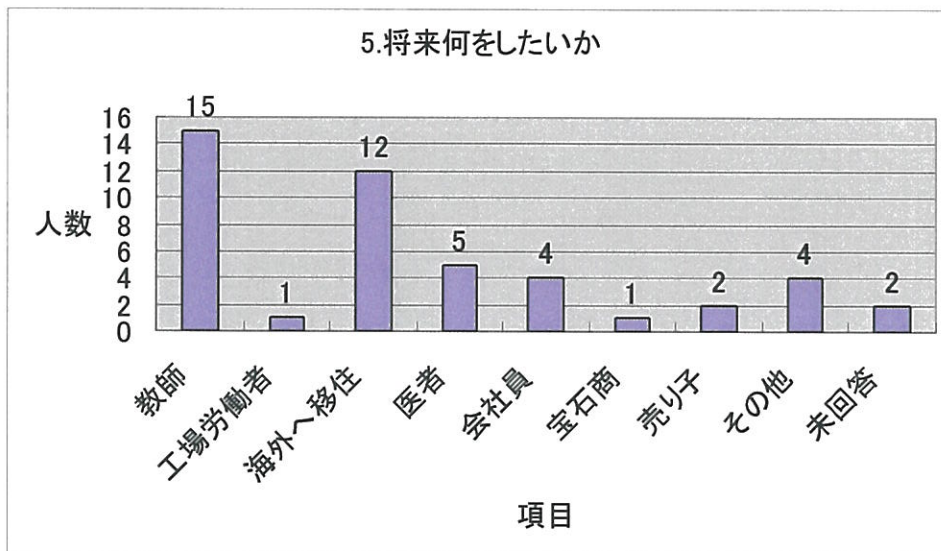
働きたいと思っている子どもが圧倒的に多く、かつその動機は家の経済的な理由からが最も多い。

(6) あなたにとって教育は大事か



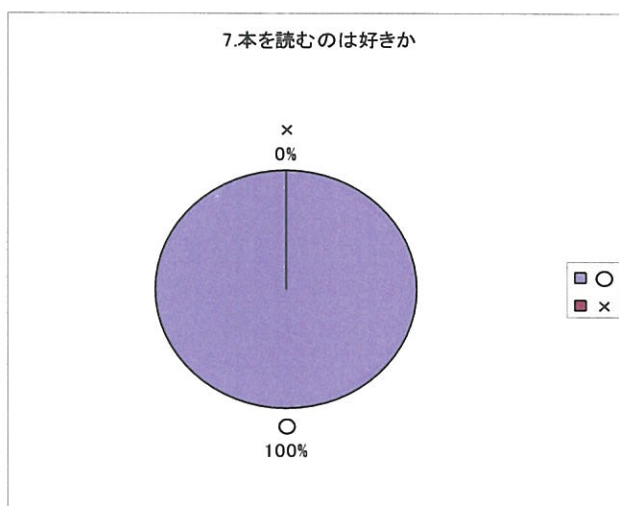
これも圧倒的に大事であると考えてる子どもが多く、教育の重要性を認識しているようであった。

(7) 将来何になりたいか



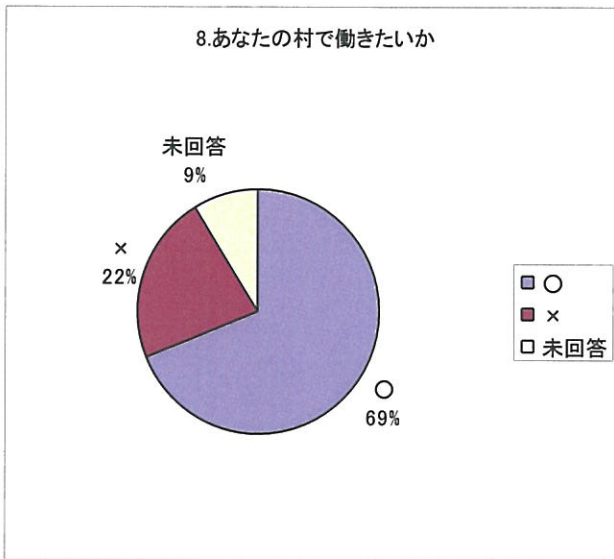
やはり教師の人気は高い。  
興味深いのは、「海外へ移住」と回答した子どもたちも圧倒的に多かった点である。バンテミンチェイはタイと国境を接する州である。実際、出稼ぎ、あるいは移住する人が多く、子どもたちにとってもそれはごく自然のことなのかも知れない。

(8) 本を読むのは好きか



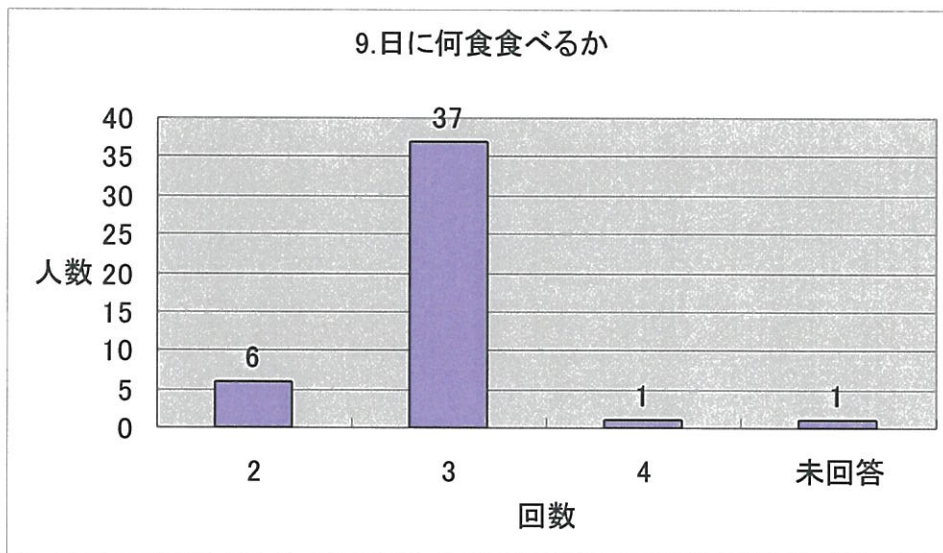
ここでも、SVA の図書館活動が子どもたちにより影響を与えていることが伺えた。

(9) あなたの村で働きたいか

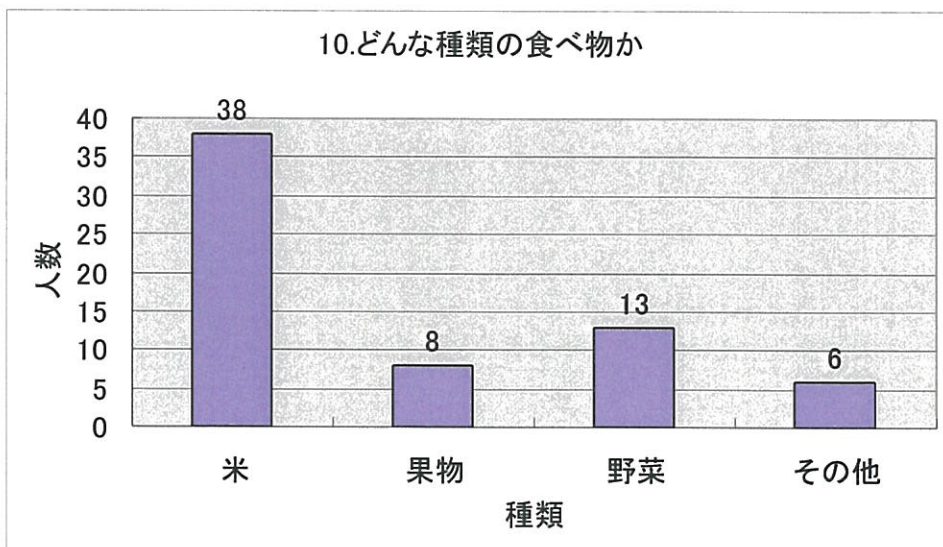


海外への出稼ぎを望む声も多かったが、自分の村で働きたいという意志を持つ子どもも半数以上いるようだ。

(10) 日に何食食べるか



(11) どんな種類の食べ物か

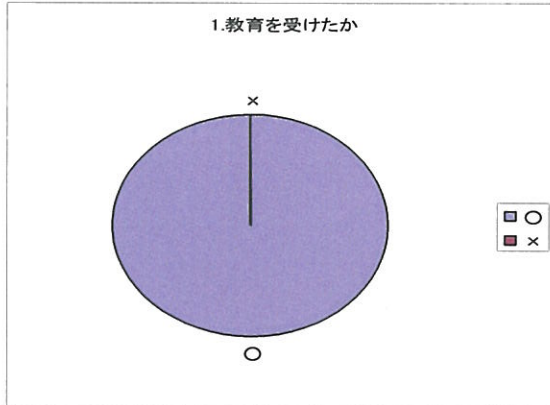


育ち盛りの子どもにとって、一日何食、どのような内容で食べることが出来るかは、重要なことである。アンケート結果によると、一日三食、米を中心としたメニューが多いようだ。気になるのは(10)で、複数回答であるにもかかわらず、多くの子どもが米のみと回答しており、栄養バランスが偏っている可能性がある。

幼いころに感じた空腹感は、子どもにとって耐え難い記憶となり、将来空腹を恐れ、都市、あるいは外国へ移住することもあるかもしれない。

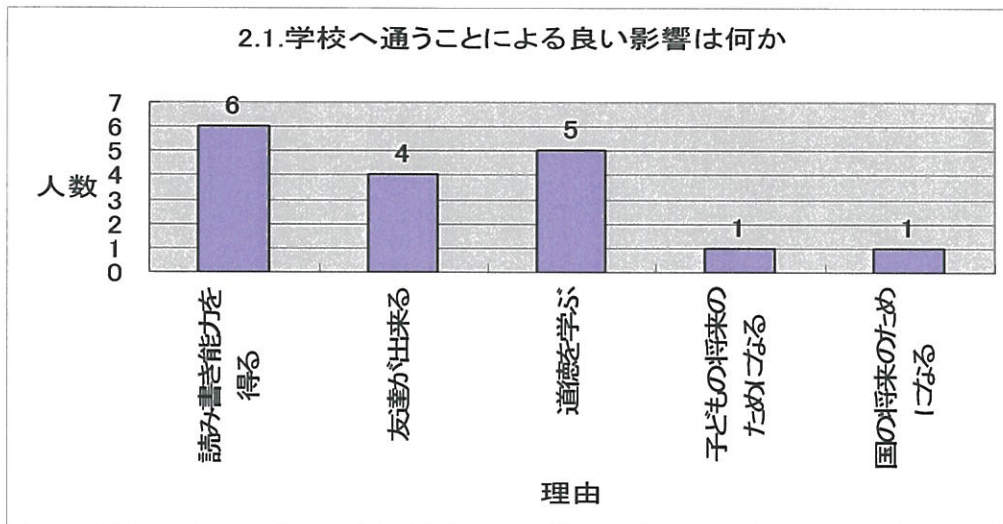
【親】

(1) 教育を受けたか



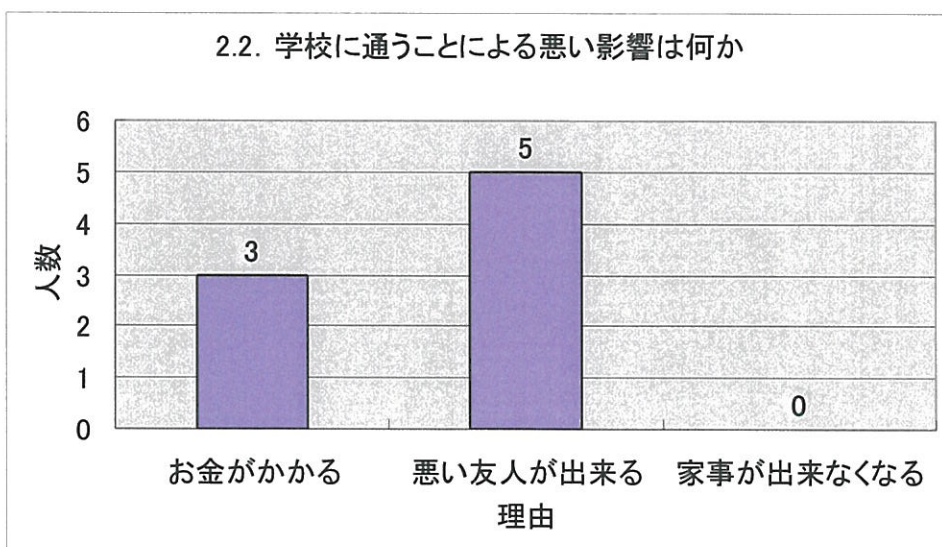
すべての親が教育を受けていたと回答した。

(2) 子どもが学校へ通うことによる良い影響は何か



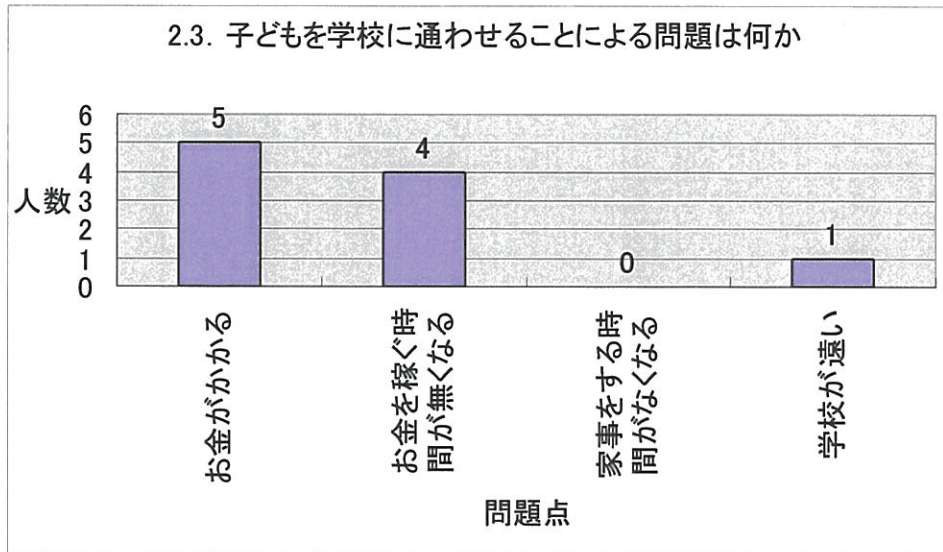
やはり読み書き能力を得たり、道徳を学べるようになったりと、学びに関することが多かった。

(3) 子どもが学校へ通うことによる悪い影響は何か



(2)の質問において、友人が出来ることをよい影響のひとつだ、と答えた親が多かったが、それと比例して、悪い友人が出来ることを危惧する親も多く、興味深い。

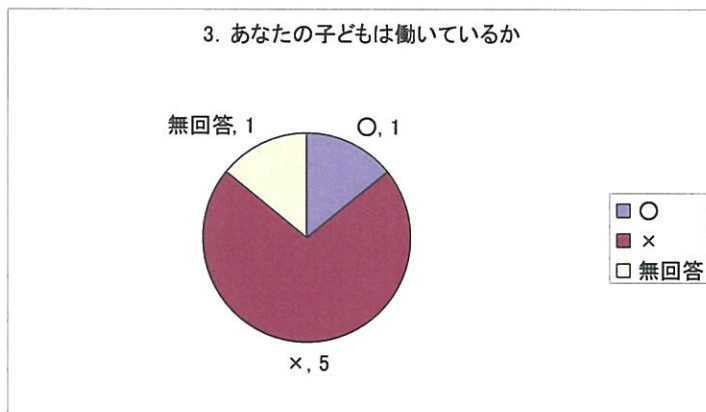
(4) 子どもを学校に通わせることと、それによる問題は何か



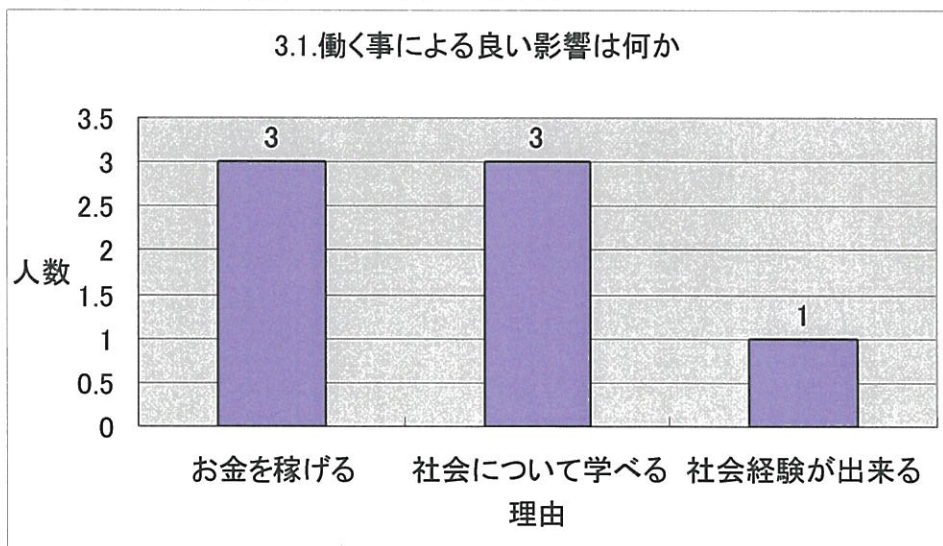
教育はお金のかかるものである。

お金を稼ぐ時間がなくなる、という回答が多いということは、(5)で×を回答した親の中で、子どもを働かせたいと思う親が多い、ということなのであろう。

(5) あなたの子どもは働いているか

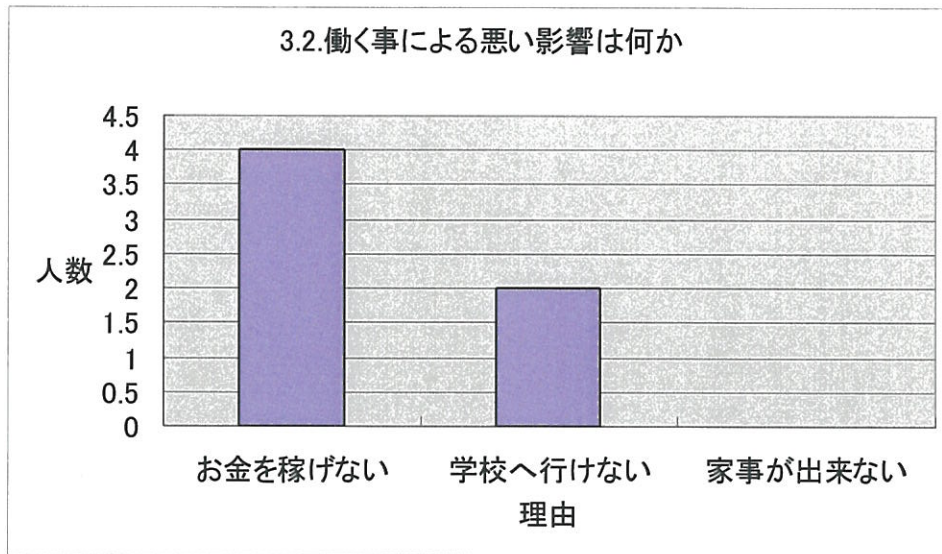


(5.1) 子どもが働くことによる良い影響は何か



お金を稼げることは当然であるが、社会について学べる、という理由も同じ程度あり、お金を稼ぐことのみが目的ではないことが分かった。

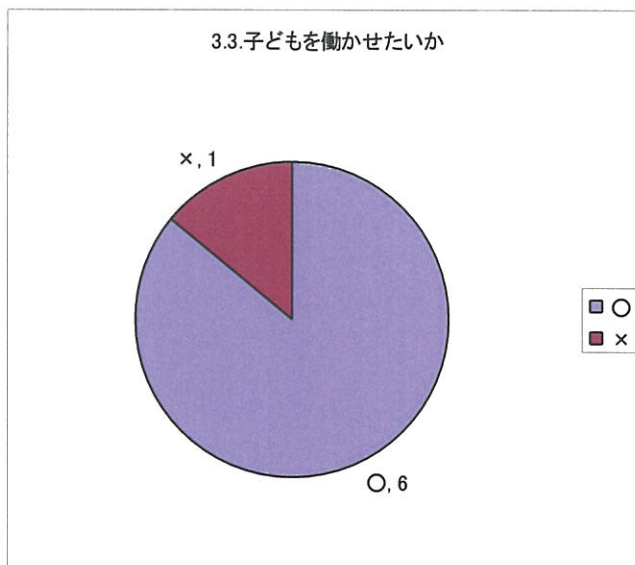
(5.2) 子どもが働く事による悪い影響は何か



(5.1)でお金を稼げる、と回答した親以外が、お金を稼げない、ということを経由としている。働いたからといって、稼げるか否かは、別問題のようである。

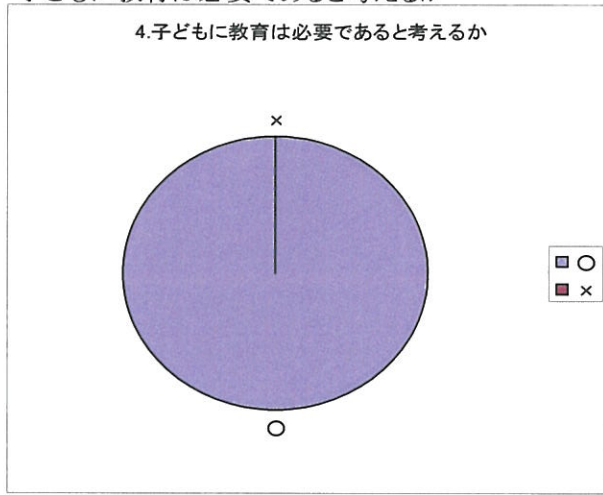
興味深いのは、子どもが学校へ通っている親を対象に行ったアンケートであるにもかかわらず、「学校へ行けない」と回答した親がいたことである。おそらく、働いた疲れや時間がなくなるなどの理由で、時々、あるいは頻繁に、学校を欠席するであろうと考えているのだろう。

(5.3) 子どもを働かせたいか

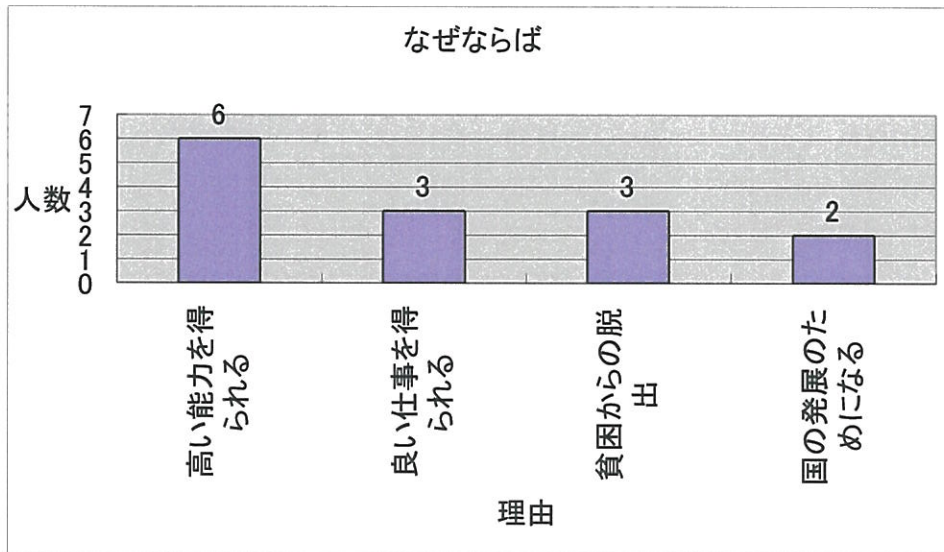


(5)で働いている子を持つ親は一人だけであったから、残りの親全てが、子どもを働かせたいと思っているようだ。

(6) 子どもに教育は必要であると考えるか

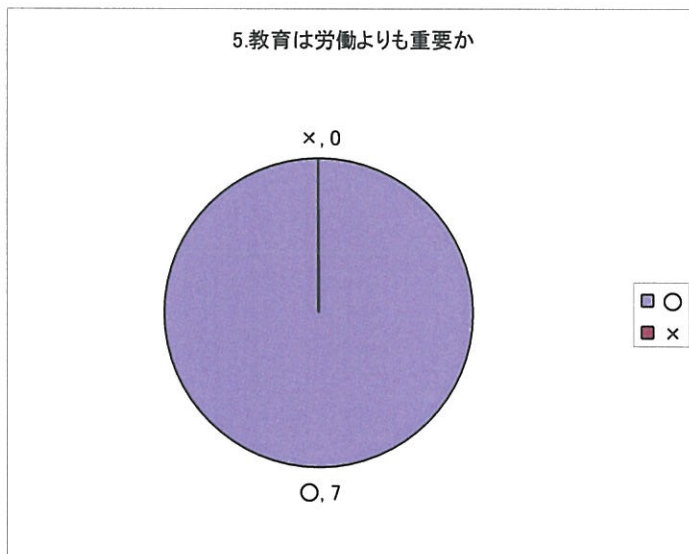


なぜならば…



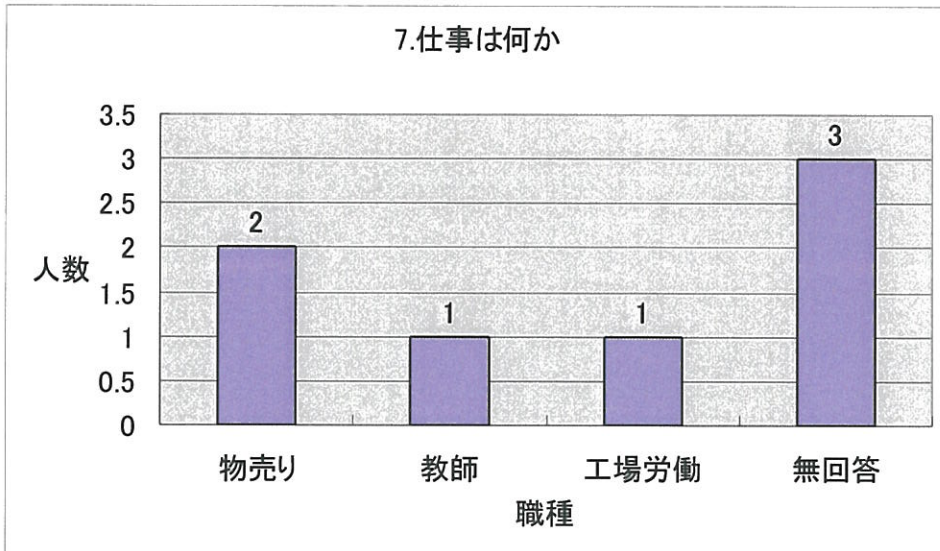
親自身が教育を受けている、ということもあり、教育に対する理解は、得られているようである。また、その理由はさまざまであることが伺える。

(7) 教育は労働よりも重要か



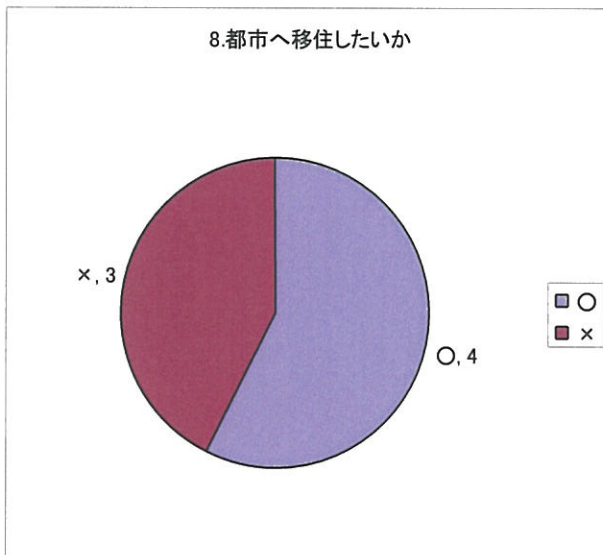
労働をさせたい親が多かったが、皆教育の方が重要であると回答しており、教育に対する意識が分かった。

(8) あなたの仕事は何か

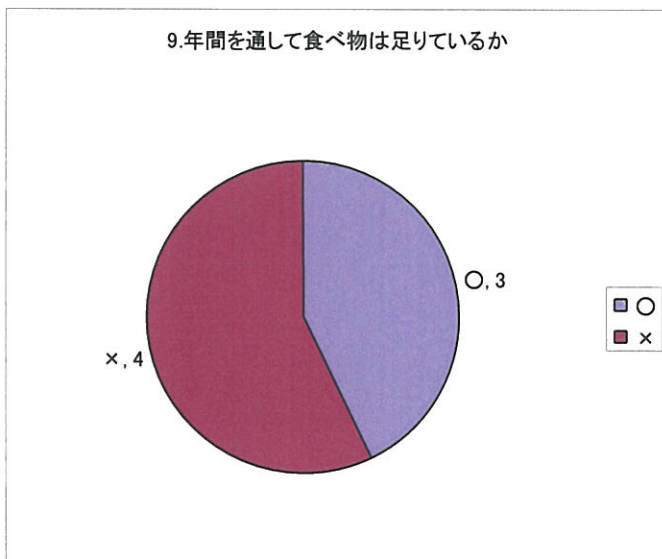


農作業という項目を作らなかったため、無回答には農作業が含まれていることが予想される。また、回答者7人中6人が女性であったため、労働をしていない可能性もある。

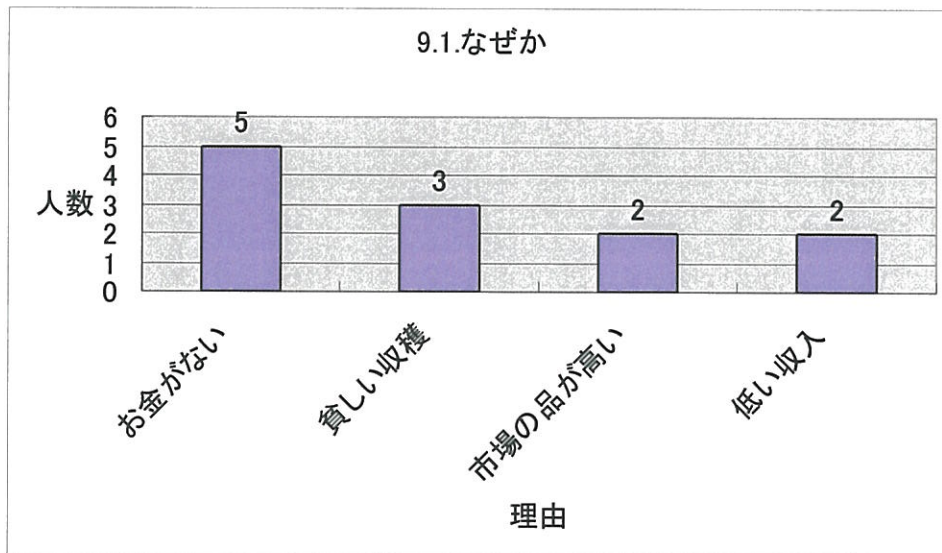
(9) 都市へ移住したいか



(10) 年間を通して食べるものは足りているか



## (10.1) なぜならば



(10)で食べ物が足りていない、と回答する親が多く、(9)で同じ数だけ都市へ移住したいと考えている。食べ物が足りていないことは、移住への大きな動機付けとなるであろうから、食べ物をどう得るか、重要な課題であるといえる。また、食べ物が十分に足りていない最大の理由として、お金がないことが挙げられており、貧困の克服も同時に行わなければならないであろう。

### 第三章 まとめ

#### 1. 調査のまとめ・反省

インタビューやアンケートのような社会調査を行うことは初めてであり、全てが試行錯誤の繰り返しであった。そのため、思い通りにいかないことも多々あり、失敗も多かった。しかし、調査結果をまとめてみると、私が予想していなかった結果が得られるなど、得るものも多かった。

調査に対する反省点は、多くある。まず最も反省されるべきなのは、テーマをしっかりとつべきだった、ということだ。日本で用意してきたテーマが、カンボジアで様々な事を見るにつけ、変化していった。それ自体悪い事ではないが、問題意識を曖昧なままにしていたため、核がなかった。また、社会調査法を少しでも学んでおけばよかった、と強く感じた。調査にも一定の方法があるのであるから、日本にいる間に学ぶべきだった。

サンプル数が少なかった感が否めないが、これはしかし、全体の傾向を得るのではなく、ケース・スタディとして扱えば、有効活用が出来るのではないかと考える。

語学に関しては、研修中、業務は全て英語であるから大きな問題は無かったものの、もっと英語を学ぶべきであったと随所で感じた。これは日本にいるあいだに、関連単語を覚えるなど、出来る事もあったと思う。カンボジア語に関しては、出来なくても何とかなるが、出来る事に越した事はない。私の場合、日本にいるあいだに、大学でカンボジア語 I を履修しており、これが大いに役に立った。

#### 2. 今後の展望

研修を通して、様々なことに興味をもち、もっと学びたい、という気持ちが強く沸き起こった。

まず最初に、社会調査法を学びたいと思う。日常で当たり前のように接する調査、というものが、こんなにも大変で、奥が深いものだとは知らなかった。今後調査に触れるためにも、学びたいと思う。

他にも、カンボジアという国のこと、歴史、文化など、あまりにも知らなすぎたと感じたので、学びたいと思う。

#### 終わりに

私の乏しい知識・語学力にも関わらず、皆さん大変適切な助言を下された。アンケート票の作成においては、特に助けられた。私には想定できなかった回答を提示して下さったり、被回答者が理解しやすい質問を提示して下さったりと、よりよい結果のために、多くを助言下さった。また、スラムに関するレクチャーを行ったりと、忙しい合間をぬってまで、様々なことを教えてくださり、大変勉強になった。

研修を通して強く感じたことは、カンボジアはとても良い国である、ということだ。発展途上国、ともすれば後発途上国、という肩書きや、実際に目にする様々な権利侵害、社会的公正など、それらは事実である。しかし、それ以上に、カンボジアは我々「先進国」の人間が失ってしまった豊かさを持っている。我々「先進国」の人間は、時として、カンボジアに対してマイナスのイメージ、あるいは偏見を持ってしまう。しかし、それはあくまで



カンボジアの一部分なのであって、それが全てではない。そのことを、改めて認識した。また、スタッフ自身が様々に苦勞をされていたためか、仕事に対する熱意やなぜそれを行うのか、という目的意識が強く感じられた。スタッフの皆さんの人生そのものが、カンボジアの歴史、あるいは現在を見るようで、とても印象深かった。

この研修を通しての反省点は、いくつかある。テーマに関する準備不足、語学力、積極性等である。これらは、次回このようなフィールド調査を行う機会があった場合や、あるいは日常生活を送るうえで、改善すべき点である。日本で改善点を学び、よりよい調査・研究が出来るようになりたいと思う。

この1ヶ月は、本当に楽しく、カンボジア出国が嫌でいやでたまらなかつたほどだ。都市のみならず、農村部を訪れたり、カンボジアの抱える問題を見ることが出来たのは、非常に貴重な体験であった。カンボジアという国の一部しか見れていないのであろうが、それでも、刺激的な毎日で、常に何かを学んでいたように思う。

学部生という立場で、知識も経験もない私を受け入れて下さったことに、心から感謝しています。東京事務所の方、現地スタッフの方、皆さま、ありがとうございました。

また、この研修に理解を示し、補助金を交付して下さった「市民海外インターンシップ」制度、および三鷹市に感謝いたします。この報告が、三鷹市のよりよい国際貢献に役に立てれば幸いです。